

(2026年7月21日発表)

7月27日 駿河湾・海洋 DX 研究開発事業化コンソーシアム 第2回コラボレイティブミーティングの開催

【趣旨・背景】

・静岡市と静岡県が共同で進める駿河湾・海洋DX先端拠点化計画では、産学官連携の「駿河湾・海洋DX研究開発事業化コンソーシアム」を設立し、スマート水産、ブルーカーボン、海洋関連機器、ROV 運用実証(※)の分野で駿河湾の海洋環境を活かした共同研究開発を進めています。

※「ROV」とは、海中の調査や点検を行う遠隔操作型の水中ドローンです。運用実証では、水中ドローンを実際の海域で活用し、有効性や活用方法を検証します。

・その研究開発について、コンソーシアム以外の関係者の参画を広く得て、事業化・社会実装を促進することを目的に、「第2回 コラボレイティブミーティング」を開催します。

・コンソーシアムの企業・大学のほか、関係する企業・団体など約80名が参加し、関係者間の情報共有や意見交換、マッチングなどを行います。

【開催日時・会場】

2026年7月27日(月)14時30分～17時15分

B-nest(静岡市産学交流センター) プレゼンテーションルーム (葵区御幸町 3-21 ペガサート 6 階)

【主な内容】

- 1 講演:福島イノベーション・コースト構想と福島ロボットテストフィールドの概要・活動状況
南相馬市、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構
- 2 駿河湾・海洋 DX 研究開発事業化コンソーシアムの研究開発テーマ発表「ROV 運用実証」
東海大学 海洋学部
- 3 参加者からの情報提供(コンソーシアム以外の関係者による取組紹介)
清水銀行グループ「金融機関による海洋関連の地域活性化への取組等」
東京海上日動火災保険株式会社静岡支店「環境保全に向けたブルーカーボンの取組等」
合同会社 SDCC(大日工業株式会社)「産学連携による ROV の開発の取組」

【駿河湾・海洋 DX 先端拠点化計画】

・内閣府の地方大学・地域産業創生交付金事業に採択された 2024 年度～2033 年度の 10 カ年計画(うち 2028 年度まで国の交付金活用予定)です。

・産学官の協働により、海洋環境を活かした研究開発の拠点形成や大学における人材育成、海洋関連分野の新産業創出などを一体的に進めます。

市 HP:<https://www.city.shizuoka.lg.jp/s7524/s013055.html>

【取材について】

事前申込・連絡ともに不要です。開催日時に直接会場へお越しください。

【問い合わせ先】

経済局 BX 推進課(浪漫館 14 階)、担当:伊藤・寺田、電話:054-354-2133